令和2年7月企画展示
多摩市立図書館

ブックリスト

家夏を楽しもう

『夏を拾いに』

森 浩美／著 双葉社 （F1 モリ）

昭和 46 年の夏。ブンちゃん、つーやん、雄ちゃん、そして転校生の高井、小学5年生の悪ガキ4人で過ごした夏休みの愛おしい冒険。森版昭和の和製『スタンド・バイ・ミー』。写真でもモノでもなく、心でしか開けない夏が誰にでもある。成長しても常に自分に寄り添ってくれる思い出、かけがえのなかった“夏”を拾いに行きたいと思わせてくれます。

『向日葵の咲かない夏』

道尾 秀介／著 新潮社 （F1 ミチ）

サイコホラー要素が印象に残る叙述トリックを多様したミステリー小説。９歳のミチオは、蜘蛛に生まれ変わったクラスメートＳ君から、死の真相解明を依頼され、妹のミカと共に事件の捜査に様々な場所へ出かけます。足の折られた犬や猫の死体、男の子が好きな先生、暴言を吐く母親…読めば読むほど謎が深まる作品です。

『哀しい予感』

吉本 ばなな／著 幻冬舎 （F1 ヨシ）

弥生は幼い頃の記憶がないことが、いつも頭の片隅に引っかかっていた。おばのゆきのと一緒に暮らし、そしていなくなったおばを探すうちに、事実を思い出していく。その中で、弟として育った哲生とお互いの気持ちを確かめ合う二人。

なにもかもがキラキラと透明な十九歳の初夏の物語が始まる。

『変身綺譚集成－谷崎潤一郎怪異小品集－』

谷崎 潤一郎／著　東 雅夫／編

平凡社　（F1 タニ）

東雅夫さん編の谷崎潤一郎が遺した怪異・幻想短篇集。眠れなくなるような怖い話ではなく、妖しげな超自然を描いた作品を厳選。泉鏡花や芥川龍之介といった先達や同輩たちについて語る作品も併せて収録。

『したたかな植物たち －あの手この手の㊙大作戦　春夏篇－』

多田 多恵子／著　筑摩書房　（471）

スミレ、ネジバナ、マムシグサなど身近な植物たちのあっと驚く私生活を紹介するサイエンス暴露本？「光センサー」「開閉装置」「振動感知器」など科学テクノロジーを駆使してより多くの子孫を世に送り出すために闘う植物たち。美しいカラー写真を交えて人気の植物学者が解説します。

『独立太陽光発電所の作り方 －1 万円でできる!ベランダでできる! 小さなソーラーパネルでも、こんなに使える!－』

中村 昌広／著 総合科学出版 （543.8）

ベランダや小さな窓があれば、自分だけの電気を作ることができる、電気の自給自足です。製作費は 1 万円、発電量は 1Wh! これで「LED 電球 1 個（白熱電球 60W 相当）＝1 日 5 時間、スマートフォンのフル充電を 3 日間継続使用できるとのことです。